## 第7章 街づくり 第6節 下水道

	1-9		<b>经費</b>			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど		環境 影響		
所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	会 計 投入コスト 活動実績(H29)		成果指標		総合 評価 理由	現状の課題	有益 な もの	有害な
	実施計画ランク	事業の種別	H28予算現額 H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		H29年度に改善した点		
	優先	自治事務       法定受託事務       法定受託 + 附加         根拠法令       下水道法	67,218     60,755       H29予算現額     H29決算額(見込み)       88,001     74,900	   下水管布設延長	下水管布設総延長	地元地区環境整備保全委員会と協議を行い、 下水管の布設箇所を決定しているので、下水管 布設延長を指標とする。	ては、一定の成果があげられてい	今後の下水道整備等について、地元地 区環境整備保全委員会や地元自治会と協 議を行った。		
	清掃施設周辺整備 事業	事業の具体的な内容及び目的 東部クリーンセンター及び西部クリーンセンターの建設 に伴い、廃棄物処理施設の必要性を理解し、ご協力頂	H28正規職員	実績	H28年度目標     H28実績       9,634m     9,693.5m       H29年度目標     H29実績	H29目標値が未達成の理由·分析	ると考える。 今後も廃棄物処理施設の必要性 A を理解し、市政にご協力頂いている 周辺地区住民の生活環境の向上 等が図られるよう努める。	事業達成に向けての現在の課題及び 今後の課題解決に向けた取り組み	・ 有	有
	期間 H10年度~	いている周辺地区への地域還元として、住民の意向等を踏まえながら清掃施設周辺整備事業を実施しており、その一環として、下水道整備等を進めているところである。	H29正規職員	386.9m	10,033m H30年度目標 10,794.4	目標達成済	評価者 資源循環推進課長 池田 淳	地元自治会等には、下水道整備に関して強い要望があることから、早急に整備が完了できるよう、関係課と調整を図りながら事業に取り組んでいく。		
	実施計画ランク	事業の種別		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		H29年度に改善した点		-
	最優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加 拠法令 水道法、都市計画法、環境基本法	1,130,768千円 1,116,822千円 H29予算現額 H29決算額(見込み) 1,607,843千円 1,555,080千円	-     汚水管の整備面積	整備面積	汚水管の整備面積が拡大することで目標達成 の成果が把握できるので、整備面積を指標とす る。	平成29年度目標を約97%達成し、第	道路事情から工事による通行止めや迂回など住民生活への影響が大きい地区では、きめ細かく発注時期を調整したり、地元の要望に沿った時間帯での施工を行う		
下水 道整 備課		事業の具体的な内容及び目的 市街化区域の下水道整備は、平成14年度で完了し、引	H28正規職員   H28その他職員   従事割合   非常勤   0.00 人	-	H28年度目標 H28実績 21ha 19.1ha	H29目標値が未達成の理由·分析	業(整備面積約125,9ha)に係る整 備率も75%となり、着実に成果があ A がっている。	ことで影響を最小限にとどめた。  事業達成に向けての現在の課題及び 今後の課題解決に向けた取り組み	・ 有	有
	期間	続き市街化調整区域の整備事業を平成15年度より開始 した。平成27年度から第3期市街化調整区域の面整備 事業を実施している。下水道未整備区域の汚水管整備 を進め、生活環境及び公共用水域の水質を改善し、快 適な生活環境を構築する。	96,640千円 臨時職員 0.00 人   H29正規職員	23.1ha	H29年度目標     H29実績       23.7ha     23.1ha       H30年度目標     1.0mg	下水管布設工事の1件で平成30年3月に受注者 より「工事契約継続不能届」が提出され未完成 となり、当該工事の施工延長が約40%減少した ため、予定整備面積を下回ったものである。	評価者	平成31年度までに第3期市街化調整区域 下水道整備事業を完了できるよう進めると ともに、第4期市街化調整区域下水道整備 事業に向けた準備を進める。		
	S32年度~	** * ** T. T. I.	90,111千円 臨時職員 0.00 人		17.1ha		下水道整備課長 根岸 清			
	実施計画ランク	事業の種別 自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加 根拠法令 下水道法、都市計画法	9,386千円 9,295千円 H29予算現額 H29決算額(見込み)	項目名 雨水管等整備 浸透井整備	指標名  年度別整備面積  年度別設置箇所数	目標設定の考え方・根拠 雨水管等の整備面積の拡大及び浸透井整備の 完了箇所数が増加することで、目標達成の成果 が把握できるので指標とする。	平成29年度・30年度の継続工事で	H29年度に改善した点 ゲリラ豪雨等による浸水被害の早期軽減 を図るため、埼玉県と設立した協議会で検 討を進める中で、被害の大きかった市内2 地区について河川と下水道の一体的な整 備を行うための連携施策をまとめ、HP等		
下水道整備課	雨水対策事業	事業の具体的な内容及び目的  雨水を速やかに排除し、浸水・冠水等を防ぐ。 集中豪雨時の浸水・冠水被害発生地域の把握と状況 調査を実施する。 調査結果に基づき、雨水対策地域 の把握及び方法の検討を行う。 冠水被害が頻繁に発	H29正規職員	実績 Oha	H28年度目標     H28実績       0ha·0箇所     0.1ha·0箇所       H29年度目標     H29実績       0ha·0箇所     0ha·0箇所	H29目標値が未達成の理由·分析 目標達成済	番号に平成29年度分の出来高が 予定どおり達成されている。	帰さり力にめの屋孫施泉をまとめ、日下寺 に掲載すべく準備を進めた。 事業達成に向けての現在の課題及び 今後の課題解決に向けた取り組み 岩岡雨水1号幹線築造工事について、平成30 年度の完成を目指す。雨水対策については、 雨水管の布設や雨水浸透井の築造などによ	・ 有	有
	期間 S32年度~	生している地区の雨水整備を実施する。 緊急に雨水整備が必要とされる地区における暫定措置として、雨水浸透井を築造する。	人件費     従事割合 非常勤 特別職     0.00 人       24,013千円 臨時職員     0.00 人	0箇所	H30年度目標 Oha·0箇所		下水道整備課長 根岸 清	り、地域に応じた対策を講じる。また、埼玉県と 設立した協議会での具体的な方策の検討に資 するため、平成30年度に浸水対策調査を予定 している。		
		事業の種別		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		H29年度に改善した点		
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加根拠法令 下水道法、都市計画法、下水道総合地震対策実施要網	214,975千円 213,333千円 H29予算現額 H29決算額(見込み) 47,032千円 45,339千円 H28正規職員 H28その他職員	- マンホールの地震対策	完了箇所数	完了箇所数が増加することで目標達成の成果 が把握できるので、完了箇所数を指標とする。	いると考えている。平成29年度を	マンホールの耐震化工事において、移設困難な地下埋設物が支障となり、開削による耐震化工事が困難なマンホールについて工法検討を行い、非開削による内面補強工法を採用して所定の耐震性能を確保		
下水 道整 備課	下小坦地辰对宋 <del>事</del> 業	事業の具体的な内容及び目的 下水道は重要なライフラインであり、震災等により機能が停止した場合、排水不能や損壊による道路陥没が原因の交通事故や渋滞で物資供給が停滞するなど市民	企業     人件費     従事割合       2.48 人     非常勤     0.00 人       特別職     0.00 人       21,266千円     臨時職員     0.00 人	実績	H28年度目標     H28実績       9箇所     9箇所       H29年度目標     H29実績	H29目標値が未達成の理由·分析	A 計画」に基づき予定箇所の耐震化工事を進めていく。	した。  事業達成に向けての現在の課題及び 今後の課題解決に向けた取り組み  計画の対象路線が緊急輸送路に埋設されてい	- 有	有
		国の文地事成で次派と物質疾品が停滞するなどが民生活に甚大な影響を及ぼすことから、既存施設の地震対策を実施する。緊急輸送路や軌道下に埋設されている管渠やマンホールについて、補強・再構築工事を実施する。	H29正規職員	12箇所	12箇所       H30年度目標       3箇所	目標達成済	評価者 下水道整備課長 根岸 清	る管渠や幹線管渠であることから、断面が大き 〈流量が多いうえマンホールも深いため、施工 条件に制約があり、工法等の検討に熟慮を要 する。平成30年度~34年度を計画期間とする 中期計画に基づき耐震工事を進める。		

## 第7章 街づ(り 第6節 下水道

713	<del>,                                    </del>	(リ 第 の即 下小屋	/∇ #±		H H		気はまたがらた 佐い 1881	・白けた毎時、取りやつ・かり	環均	境
能量	事務事業名称		Agg			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			響	
所属 名称		事業概要(全体)	会計 投入コスト	活動実績(H29) 成果指標		総合評価理由	現状の課題	有益 な もの	な	
	実施計画ランク	事業の種別	H28予算現額 H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		H29年度に改善した点		
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	20,000千円 19,656千月	9	詳細設計委託(平成28年度)	緊急度 ・ の改築延長				
	下水道長寿命化対 策事業	根拠法令 下水道法	H29予算現額 H29決算額(見込み) 27,000千円 30,132千F	改築延長 183m       人       大	改築延長(平成29年度) 改築延長(平成30年度)	実施延長/計画延長   H29目標値が未達成の理由・分析   目標達成済	5、平成29年度は予定とおり214m がの更生工事を実施し、長寿命化対策により耐用年数の延伸を図ることができた。	ストックマネジメント実施方針策定により、 事後保全から戦略的な維持管理である状態監視保全に移行を図る。 事業達成に向けての現在の課題及び 今後の課題解決に向けた取り組み		
下水 道維 持課		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員   H28その他職員   企   人件費   従事割合   第 0.50 人   特別職   0.00 /		H28年度目標     H28実績       1件     1件				- 有	有
		早期に下水道事業を開始した所沢地区の管路施設が 耐用年数を迎え、老朽化による損傷が増加しているので、事故によるサービス低下を防止する。 ・本管の布設替え又は更生	4,288千円 臨時職員 0.00 / H29正規職員 H29その他職員 人件費 従事割合		H29年度目標 H29実績 183m 214m			ストックマネジメント計画を国土交通省に 提出し、下水道ストックマネジメント支援制		
		・取付管の布設替え又は更生 ・マンホール蓋の取替	3.45 人 非常勤 (0.00 / 特別職 (1.00 /	改築延長 214m	H30年度目標		評価者	度の交付対象事業とし、改築の実施を進   める。		
	H23年度~		29,273千円 臨時職員 0.00 /	4	403m		下水道維持課長 吉田 進一			
	実施計画ランク	事業の種別	H28予算現額 H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		H29年度に改善した点		
		自治事務 法定受託事務 法定受託+附加根拠法令 都市計画法第75条、所沢都市計画下水道事業受益者負担に関する条例	1,503千円 1,081千F H29予算現額 H29決算額(見込み) 277千円 162千F		現年度分収納率	収入済額/調定額(収入すべき額)	現年度分収納率については、目標値の98%に対し、わずかに下回る結果となってしまった。平成30年度は、前年度に引き続き市民の目線に立った丁寧な説明や説得を行う	第一環境(株)の訪問による、特別催告書の手渡しと現地での徴収を行った。		
下水 道維 持課	受益者負担金賦課 徴収事業	事業の具体的な内容及び目的 下水道の整備により利益を受ける人に建設費の一部の負担 を求めることにより、公共下水道の整備を推進する。	H28正規職員		H28年度目標     H28実績       98.00%     98.10%	H29目標値が未達成の理由·分析		事業達成に向けての現在の課題及び 今後の課題解決に向けた取り組み	無	無
		・公共下水道整備地区の土地所有者等に対し、事業説明会、申告受付を経て、対象となる土地の面積に単価を乗じて負担額を決定する。 ・市街化調整区域の土地の面積に乗じる単価は、平成27年度より1㎡当たり1,030円となった。	18,436千円 臨時職員 0.00 / H29正規職員 人件費 ( 企事割合 1 4 6 5 日 ま 中 ま 中 ま 中 ま 中 ま 中 ま 中 ま 中 ま 中 ま 中 ま	112,601,500円 (H29年度調定分)	H29年度目標     H29実績       98.00%     97.79%	通常の督促状、催告書、特別催告書の送付の ほか、委託業者による年2回の訪問徴収も実施 したが、目標を達成することができなかった。平 成30年度は職員による自宅訪問の回数を増や すなどして徴収を強化したい。	T11(.	差押等の滞納処分を行える職員の補充や   研修を実施していく。	1	
	期間	・納付方法は、5年間の分割納付が基本であるが、希望により 一括納付もできる。	1.05 人 特別職 0.00 人	49.34%	H30年度目標	9 & C O C HX 4X & 7H (15 O / C V 1)	評価者			
	S44年度~	<b>事</b> 来のほ叫	8,909千円 臨時職員 0.00 / H28予算現額 H28決算額		98.00% 指標名	日標がウのおうた。相加	下水道維持課長 吉田 進一	1100年度に改善した上	++	
	実施計画ランク	事業の種別 一 自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	H28予算現額 H28決算額 636,529千円 510,979千F	項目名 1年間に清掃した管渠延長	14保石	目標設定の考え方・根拠	改善要望等には、概ね対応できた。これは外部情報が入った際、直ちに現地確認を行い、直営又は業者による対応を迅速に行ったためA である。	H29年度に改善した点		
	里安	根拠法令	H29予算現額 H29決算額(見込み)	(見込み) 086,598千円 地職員 1年間に取替えたマンホール 蓋の個数 1年間に実施したテレビカメ ラ調査箇所		マンホール蓋のガタツキ、振動、騒音、下水道 管の詰まり、臭気、溢れ等 (目標値 = 要望件数、実績 = 完了総数) H29目標値が未達成の理由・分析		インメント美施力針を束正した。		有
下水道維	下水道维持管理事	事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員 H28その他職員 (従事割合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		H28年度目標 H28実績					
持課	<b>X</b>	下水道は、市民の安全で快適な生活を確保するために重要なライフ ラインである。適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させ るとともに継続的に利用できる環境を整える。 土砂及び油脂の堆積による流下能力の低下を防ぐための下水道	葉   22.40 人  特別職   0.00 /		144件     144件       H29年度目標     H29実績			今後の課題解決に向けた取り組み		
	期間	管渠清掃 老朽化している施設の更新 下水道施設から発生する臭気対策、不明管・侵入水等のテレビカメ ラを使用した原因調査 降雨災害防止のための対策及び巡視	18 10 1 非常勤 000	7,078.5m 614個 人	100件 157件 H30年度目標	目標達成済	評価者	ストックマネジメント実施方針で策定した管理体制を実施し、点検・調査計画及び修  理体制を実施し、点検・調査計画及び修   繕・改築改革を評価し、必要に応じて目標   や計画を見直し、継続的に改善・向上に努		
	 S33年度~	市内ポンプ場・調整池等の適切な運転管理、監視・安全管理の徹底	153,579千円 臨時職員 0.00 /	107箇所	100件		下水道維持課長 吉田 進一	めていく。		
	実施計画ランク	事業の種別	H28予算現額 H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		H29年度に改善した点		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	32,925千円 32,314千月	9		(平成29年度まで) 除草要請、ごみ撤去等	改善要望等には、概ね対応でき	平成28年度に改修出来なかった洪水調整		
		根拠法令 下水道法	H29予算現額 H29決算額(見込み) 58,292千円 57,731千F	土の量	改善要望対応件数(平成29年度まで) 調整池のパトロール(平成30年度から)	(三根値 - 要望総数 実績 = 完了総数 ) (平成30年度から) 調整池の適切な維持のために週1回のパトロール実施(月4回×12か月)	た。これは外部情報が入った際、直ちに現地確認を行い、直営又は業者による対応を迅速に行ったため	型 越流堰の工事を実施した。 しゅんせつ土の含水率を下げるヤードを設置し、受入単価の低い処分地に搬出でき		
下水 道維 持課	本 計 都市下水路維持管 理事業	事業の具体的な内容及び目的	企業 H28正規職員 H28その他職員		H28年度目標 H1件 H28実績 10件	H29目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	である。また、平成27年度から委託 / 料が減額となったことを受け、直営 による定期的なスクリーン点検、清 掃作業を行い、未然に事故を防止 した。		- 有	有
		浸水のない快適な都市環境を保持し、市民の安全で快適な生活を守るため、都市下水路及び調整池を適切に管理する。 堆積土のしゅんせつ	36,873千円 臨時職員 0.00 / H29正規職員 H29その他職員	360 m²	H29年度目標 3件 H29実績 1件			施設の老朽化が進んでいるため、今後も		
	期間 845年度~	除草、樹木の剪定 施設の補修及び改良工事 降雨災害防止のための対策及び巡回	人件費 従事割合 1.00 人 特別職 0.00 人 25,455千円 臨時職員 0.00 人	68,410 m²	H30年度目標 48回		評価者	」修繕費が必要となる。 ■都市下水路及び調整池の適切な管理を □行っていく。		
	○□○十段		20,700 [ ] ] 山湖中57株 只 0.00 /	`	··-		1.小足離門林及 口田 医	L	Щ	